

陸、海、外三當局發表

山東南部一帯

猛烈な爆撃敢行
敵は完全に袋の鼠と化す

廿日發函通 去る十四
 して一列に對して落さ
 州政政軍地上部隊の
 に呼籲し山東南部の
 には、物狂の荒
 驚と狂に物狂ひ
 空軍との間に通じ漂
 中戦が鎮じられてゐる
 南京を驚く程の大動
 守すべく、戦地上部隊
 敵は空
 勵奮頼むに足らずとする國
 は全力を空軍に申し徐州
 中心に有力なる空軍根據地
 形勢、阻止せんと地上部
 の進撃を阻止せんとする形
 を示すに至つたので、わが
 平秘級の飛撃軍を敢然とし
 碎すべく十八日正午を期し
 空軍に爆撃を命ぜつと翼
 連れて壮烈なる空行の幕

信任狀は廿三日捧呈

はルマニヤ駐輪タリ一公使
は二十日午後十一時外務省
交際部へ到り、案内、非公式に
如閣下と親しくお話しなした
一年前には早に本閣内に訪問
を希望としてお話しをしたが
今日がよいとお話しをしたに
たがはは快活に堪へません

近くフアジスタと相見せ、東
に廣くアヂスタに招待する意
を請する予定であるが、その
その節はよろしくお願ひし
なす

又同公使は十三日、信託状
面へ挨拶を行ふ。その節は各
方共に其の意を代表する一
宮内は張總理訪問の同公使一

固く願ひ、及、兩國の人民又
最高貴の親王と親しく交際
を望むる使命を、空想に
と、爾と爾と文に、今や
頭には得難に結合せる
た及び新興のイタリヤの理
及、その中心を成する
す、その傾向に對し、學問の
を、兩國の人民に對し、

ム首相メツセーチ

[illegible]

部下二千六百名を解編後
川沙縣下に横行してゐる
大軍で殘兵雷忠軍を掃蕩
して浦東半島の兵匪を
掃してから申出でよ
と一應既置をせしめた後皇軍

その副官陳永佳と共に蘇州長の下に引取られた。その後、任職蘇州長の大迫重晴に殉く感涙し大いで三月五日「私の

と呼ばれるこの工作職員は皇軍兵士に對しては兵隊諸君をその爲に特に二兵隊權を授け一傳達にも敬服する部下が出來た」と可憐がられてゐる

目撃せしめつゝある、この空中戦の壯烈さは去る十八日敵機三機と互砲水〇〇機を撃つゝ九十數機打ちつけてこ

擊敢行

全に袋の鼠ど化す

つて落した。先十八日正午、一氣に解下した太平部隊の○標は陽江に驚く嶺山の麓方に目撃され、遂に敵を連降停車場附近まで追ひ退けたが、これを過警す○開始したが、これを過警す○開始はわれに數倍する。○軍兵と侮つて猛然襲ひこつて來た。これは「なれ」と熱の如く身をなほしつゝ、應答全無状態を受けつゝ、

午後一時、陸州東方の相公莊茶寮を據營、敵地上部鐵に徹此打撃を與へ、らに○機は十九日遠く陽江嶺、又嶺南の猛將、敵の一部に地上○部隊と呼稱しつゝ十八、十九兩日に亘り陽所に頻りに空を馳せ演じつゝ、偵察、地上部隊、雄聲を行ふ等、平部隊の荒鷲は全機一九火のやうな灼点に燃えつゝ阿羅星の如き。

四川軍の打撃

〔濟南廿日發〕 魯縣、臨城附近の戰線において十八日までに四川軍左の如き大打撃を與へたる

七千
三萬發
三千發
六百挺
六十
三門
美甲國車少、一團を以

地上にゐた軍用列車をはじめ各軍施設に狂爆を加へて飛び去

部一帯の大空を硝煙と爆音に

嶧縣城を

たが、最も注意すべきは、午後
一時より徐州へ急進するのう
に軍用列車八輛を發進し、煙
台、一方陣中平野の砲臺は、
邦人企業復興資金の
融通損失政府が保障
外務省追加豫算で議會提出
損失決定の事は、府に
て決定し、受けた時はそ
の貸付金額の十分の五を限
とし、總額千百萬圓の損失を
損失を保障するの義を結
束、來蘭州電報の委任經營で

北支の電力は
貸出しの半額の損失保障を
すこととなり、これに要す
経費を外務省所管の追加豫
算に上乗せする。

一元經營

第三號に計上し、議會に左
如く提出した。
在支邦人金貨復興會案
通稱は金融團が支那事務
府には金銀兩を發行する
權ありて其の發行は在支
邦人に於て實業及び工業の經營者
に對してその便益に資する
ものなりとの意見を以て同
年三月二十三日閣議を以て
附屬第三號として資金を
政府の所管にたりと認め失
つた。

一北京十九日發國通電「北支に
おける電力資源開發及電工事業
の發展のみならず輕工業の發
展にも最も有利なる關係にある
中東民國臨時政府は之に關係
する方面で下り統制開發計畫を
審議中であるが、先づ第一の
一手として利義貿易銀行建設
府の幹本電力資源調査會案電

州、瀋陽、唐山、遼縣各埠の
群小發電廠を社會社の配電をも
委任經營する、これによつて
滿蒙地方の電力事業はイギリ
ス米の四國銀行協北支元化商
股証券を該處總て一元化し而
して至つた、更に天津電氣公
司の一萬五〇〇瓩發電機二臺
の火力設備は四月上旬より完
成に就かれて天津經濟第一

區日本租界ならびに南紡東洋
紡工場など各工場の動力事業
に振向けられる豫定で、こゝ
に天津英租界區における電
力統制開設の基礎工作は完成
される筈である。

廿二日離京

大岩氏再任

廿一日任期満了につき、十日市會に於て、後任重役選舉の結果大岩氏再任に決定した。

人事往來

薈京

森島清武氏（會社員）廿日

萩野官氏（内田洋行）同團
柴田清氏（三菱商事）同向

| | |
|-------------------------------|-----------------------------|
| 關ホテル | 佐古金三氏 <small>(醫師)</small> 同 |
| 高橋房逸氏 <small>(官吏)</small> 同中 | ホテル |
| 佐藤五郎氏 <small>(滿洲國官吏)</small> | 同帝都ホテル |
| 柏梁勇一氏 <small>(同)</small> 同 | 同 |
| 藤澤健氏 <small>(同)</small> 同 | 同 |
| 窪田圓平氏 <small>(牡丹江商議員)</small> | 同 |

都ホテル
岡田滋氏(同)同
土居草平氏(官吏)同
内藤盛氏(所藏社員)同

嶺
新
京
中
央
通
社
（新
京
社
社
前）
電
三
一
三
三
四
三
科
醫
院

武藤利三郎氏（官吏）同著
兼ホテル
長谷川詮吾氏（同）同
河野通文氏（同）同

市橋太郎氏廿日奉天
稻文義一氏 哈市
滿田經成氏 撫順
岩永勤氏 哈市
中村昌治氏(阿) 同
旅館
白水千星氏(阿) 同富士屋
旅館

安漢常廣氏 奉天
鐵村祖氏 哈市

高松孝純氏 東京へ
谷田繁太郎氏 奉天へ

その日く

支那内河の航行に制限、大

一報毎に敵の遺棄死體何千

今議會も既に山は見えたところ向が多い、結局一押し、一押し、三押しに限るらしい

んに豆鐵砲の要
□
けふ彼岸の中目梅なく、櫻

はき調都ではあるが大地は既に春を感づてゐる

大衆映畫の殿堂
木村莊二十監督・藤原釜足・竹久千恵子・堤真子・大爆笑週刊

廿二

木村莊
吳

野

凡

兒

大

富

三十一

豐劇

母乳そのまゝ
赤ちやんを
すくすく
育てる

グルミイラド永森



三月十九日より三日間
記念公會堂
優待割引券
限り入場料一圓三十銭
(但一人一枚限)
新京日日新聞社

TEL 3-6158★一三四五三

電話 [3] 二四九八番
あん團子
焼だん子
みつ豆

東京 三好 豊 新 本
吉野町二丁目 (座敷京新)

100

部隊

▲近衛總経理ヒトラー等相宛
共済相多年の余誼たるの厚儀
に際し更なる敬意を
表すと共に、親民衆の素
興ならびに國の健康と繁
栄を期すべく、

ブ外務省、郵政省、
帝國內閣府は今回獨逸
に至りたる兩國の
ドイツ兵隊多数の宿
営したるのみならず、
防共隊等の強化擴大
を以て必要とする。

フ外務省、郵政省、
帝國內閣府は今回獨逸
に至りたる兩國の
ドイツ兵隊多数の宿
営したるのみならず、
防共隊等の強化擴大
を以て必要とする。

訪日使節團一行
多摩御陵參拜
東京西國入京第三日

「作をやつてゐる」北京の女子大下市界に本拠を考へたのである。今日の世界は工業を専らにする人々ない。都市計划は無駄である。あると云ふ程を憚ない。であること相違なくとも、一歩を運ぶこと相違はない。

「作をやつてゐる」北京の女子大下市界に本拠を考へたのである。今日の世界は工業を専らにする人々ない。都市計划は無駄である。あると云ふ程を憚ない。であること相違なくとも、一歩を運ぶこと相違はない。

電 ③ 三八九〇 堂併
三六七七 病室

